

# 山梨県国土強靱化地域計画策定

## に関するアンケート調査

国では、東日本大震災の教訓を踏まえ、必要な事前防災及び減災、迅速な復旧復興等に係る施策を総合的かつ計画的に実施するため、平成26年6月に国土強靱化基本計画を策定し、大規模自然災害等に備えた強靱な国づくりを進めています。

県においても、強靱化の取り組みを進めることが必要であると判断し、災害に強く安心して暮らすことができる県土づくりを目指した山梨県国土強靱化地域計画（山梨県強靱化計画）を策定することとしたところです。

### < 国土強靱化とは・・・ >

「強靱性」とは、「強くてしなやか」という意味です。

「国土強靱化」とは、人命の保護を最優先とし、国土や経済、暮らしが、災害や災害に伴う事故等により致命的な被害を負わない「強さ」と、災害が発生しても速やかに回復する「しなやかさ」を持つ社会の仕組みづくり、国づくり、地域づくりを言います。

### < 国土強靱化地域計画とは・・・ >

国土強靱化地域計画では、大規模自然災害が起こった場合に致命的となる事態を想定し、その事態に対する地域、社会システム等の脆弱性（弱い部分）を検討したうえで、最悪の事態をもたらさないための事前の備えとしての取組の方向性・内容をまとめていきます。

今回のアンケート調査は、県民の皆さんに国土強靱化について伺い、県の強靱化地域計画策定に生かしていくために実施するものです。

ご多用中とは存じますが、アンケートへの回答にご協力いただきますようお願いいたします。

平成26年8月 山梨県知事政策局

### 【問い合わせ先】

山梨県知事政策局

TEL 055-223-1545

FAX 055-223-1776

—記入に当たってのお願い—

回答は質問ごとに答えの中から当てはまる記号を回答欄に記入してください。  
その他については、回答欄に記号を記入し、( )内にその内容を記載してください。

**あなたご自身についてお尋ねします。**

1 あなたの性別はどちらですか。

ア) 男性      イ) 女性

回答欄

2 あなたの年齢はおいくつですか。

ア) 20歳代      イ) 30歳代      ウ) 40歳代  
エ) 50歳代      オ) 60歳代      カ) 70歳以上

回答欄

3 あなたの職業をお尋ねします。

ア) 農業      イ) 自営業      ウ) 会社員、団体職員、公務員  
エ) 学生      オ) 主婦      カ) その他( )

回答欄

4 お住まいの地域をお尋ねします。

ア) 甲府市      イ) 富士吉田市      ウ) 都留市      エ) 山梨市  
オ) 大月市      カ) 韮崎市      キ) 南アルプス市      ク) 北杜市  
ケ) 甲斐市      コ) 笛吹市      サ) 上野原市      シ) 甲州市  
ス) 中央市

回答欄

セ) 中巨摩郡      ソ) 西八代郡      タ) 南巨摩郡      チ) 北都留郡  
ツ) 南都留郡

問1 国や県で進める「国土強靱化」のことを知っていましたか。

- ア) 内容を知っていた。
- イ) 聞いたことはあった。
- ウ) 知らなかった。

回答欄

問2 国が指定する南海トラフ巨大地震（東海地震含む）における防災対策推進地域（著しい地震災害が生ずるおそれがある地域）を知っていましたか。

県内の推進地域：甲府市、富士吉田市、都留市、山梨市、大月市、韮崎市、南アルプス市、北杜市、甲斐市、笛吹市、上野原市、甲州市、中央市、市川三郷町、早川町、身延町、南部町、富士川町、昭和町、道志村、西桂町、忍野村、山中湖村、鳴沢村、富士河口湖町  
(25市町村)

- ア) 知っていた。
- イ) 知らなかった。

回答欄

問3 国が指定する首都直下地震における緊急対策区域（著しい地震災害が生ずるおそれがある区域）を知っていましたか。

県内の対策区域：甲府市、富士吉田市、都留市、山梨市、大月市、上野原市、甲州市、道志村、西桂町、忍野村、山中湖村、富士河口湖町、小菅村、丹波山村（14市町村）

- ア) 知っていた。
- イ) 知らなかった。

回答欄

問4 お住まいの地域における南海トラフ巨大地震（東海地震含む）、首都直下地震の想定震度を知っていますか。

- ア) 両方とも知っている。
- イ) 片方は知っている。
- ウ) 知らない。

回答欄

問5 「複合災害」とは、一般的に、海面上昇・台風・集中豪雨といった気候の変動に、地震・津波・地盤沈下などの現象が重なって起こる災害をいいます。「複合災害」という言い方、意味を知っていましたか。

- ア) 知っていた。
- イ) 聞いたことはあった。
- ウ) 知らなかった。

回答欄

問6 今後起こりうる大規模自然災害として脅威に感じる自然災害はどれですか。脅威に感じる順に2つまで選んでお答えください。

- ア) 南海トラフ巨大地震(東海地震を含む)
- イ) 首都直下地震
- ウ) 富士山の噴火
- エ) 土砂災害
- オ) 豪雨災害
- カ) 豪雪災害
- キ) その他( )

回答欄(複数回答可能)

問7 大規模自然災害に事前に備えるべき目標として優先度が高いと思われるものはどれですか。優先度が高いと思われる順に2つまで選んでお答えください。

- ア) 人命の保護が最大限図られること
- イ) 救助・救急、医療活動等が迅速に行われること
- ウ) 必要最低限の行政機能が確保されること
- エ) 必要最低限の情報通信機能が確保されること
- オ) 経済活動が停滞しないこと
- カ) 必要最低限のライフライン(電気・ガス・上下水道・燃料・交通ネットワーク等)が確保されること
- キ) 二次災害が発生しないこと
- ク) 被災後の迅速な再建・回復の条件や体制を整備すること

回答欄(複数回答可能)

問8 大規模自然災害に対する対策として優先度が高いと思われるものはどれですか。特に優先度が高いと思われる順に3つまで選んでお答えください。

- ア) 個人住宅の耐震化
- イ) 公共施設の耐震化・整備(避難所・医療施設・行政機関)
- ウ) 道路等インフラ・物流機能の耐災害性の強化
- エ) 情報提供・情報収集機能の多様化・迅速化
- オ) 住民参加型の実践的な防災訓練
- カ) 県民への意識啓発・防災教育
- キ) 行政機関の連携体制の整備
- ク) 災害予知等に関する研究・災害に強い新技術の開発
- ケ) 備蓄
- コ) 地域コミュニティ(自主防衛組織)の防災力の強化
- サ) 災害ボランティアの育成・連携
- シ) 救助・救急活動能力の向上
- ス) 自然環境の保全・再生
- セ) 民間企業の災害時の業務継続体制の確立
- ソ) その他( )

回答欄(複数回答可能)

問9 県内の基幹的な交通ネットワークのうち、大規模自然災害により途絶した  
場合、最も影響が大きいと思われるものはどれですか。影響が大きいと  
思われる順に3つまで選んでお答えください。

- ア) 鉄道(中央線)
- イ) 鉄道(身延線)
- ウ) 鉄道(富士急行線)
- エ) 中央自動車道(本線)
- オ) 中央自動車道(富士吉田線)
- カ) 東富士五湖道路
- キ) 中部横断自動車道
- ク) 国道20号
- ケ) 国道52号
- コ) 国道139号
- サ) その他( )

回答欄(複数回答可能)

問10 各ライフラインのうち、大規模自然災害により機能不全となった場合、  
最も影響が大きいと思われるものはどれですか。影響が大きいと思われ  
る順に2つまで選んでお答えください。

- ア) 上水道
- イ) 電気
- ウ) 都市ガス・LPガス
- エ) 一般電話
- オ) 下水道
- カ) その他( )

回答欄(複数回答可能)

問 11 南海トラフ巨大地震等の大地震が起こった場合、心配することはどれですか。当てはまるものをすべてお答えください。

- ア) 堤防の決壊、浸水
- イ) 土砂崩れ、がけ崩れ
- ウ) 地割れ、陥没
- エ) 液状化現象
- オ) 火災の発生
- カ) ガスなどの危険物の爆発
- キ) 建物の倒壊・損壊
- ク) タンスなどの家具類の転倒
- ケ) 外出先・勤務先から帰宅することができなくなる
- コ) 家族の安否の確認ができなくなる
- サ) 企業の生産活動の停止
- シ) 治安の混乱
- ス) 食料・飲料水、燃料、日用品などの確保が困難になる
- セ) 電気、水道、ガスの供給停止
- ソ) 原子力発電所事故
- タ) 避難所生活
- チ) その他( )
- ツ) 心配なことはない
- テ) 分からない

回答欄 (複数回答可能)

問 12 地震に対しては、住宅の補強工事を行って安全性を高めることが考えられます。現在のお住まいは十分な耐震性がありますか。

- ア) 耐震性がある。
- イ) 耐震性が不十分。
- ウ) 分からない。

回答欄

(問 12 でイ) と回答した方のみお答えください)

問 13 現在のお住まいについて耐震補強工事を実施する予定がありますか。

- ア) 1年以内実施する予定がある。
- イ) 1年以内ではないが、実施する予定がある。
- ウ) 予定はないが、いずれ実施したい。
- エ) 実施するつもりはない。
- オ) 分からない。

回答欄

問 14 富士山の噴火が起こった場合、心配することはどれですか。当てはまるものをすべてお答えください。

- ア) 噴石の飛散
- イ) 溶岩流の発生
- ウ) 火砕流の発生
- エ) 大量の降灰の発生
- オ) 降灰後の土石流の発生
- カ) 火災の発生
- キ) 建物の倒壊・損壊・焼失・埋没
- ク) 外出先・勤務先から帰宅することができなくなる
- ケ) 家族の安否の確認ができなくなる
- コ) 観光業の長期停滞
- サ) 食料・飲料水、燃料、日用品などの確保が困難になる
- シ) 電気、水道、ガスの供給力低下
- ス) 避難所生活
- セ) 降灰による健康被害の発生
- ソ) 農作物が収穫できなくなる
- タ) 森林の消失・枯死、生態系の破壊
- チ) その他( )
- ツ) 心配なことはない
- テ) 分からない

回答欄 (複数回答可能)

問 15 お住まいの地域のハザードマップを知っていますか。見たことはありますか。

- ア) 見たことがあり、内容も知っている。
- イ) 見たことはあるが、内容はよく分からない。
- ウ) あることは知っているが見たことはない。
- エ) 知らない。

回答欄

問 16 災害ボランティア活動に参加したことはありますか。

- ア) 参加したことがある。
- イ) 参加したことはないが、機会があれば参加したい。
- ウ) 参加したことはない。

回答欄

問 17 今までに県、市町村、地域で行う防災訓練に参加したり見学したことがありますか。

- ア) 参加したことがある。
- イ) 参加したことはないが、見学したことがある。
- ウ) 訓練が行われていることは知っていたが、参加したり見学したことはない。
- エ) 訓練が行われていることを知らなかった。

回答欄

問 18 災害情報の入手先として利用しているものはどれですか。利用する機会が多い順に2つまで選んでお答えください。

- ア) テレビ
- イ) ラジオ
- ウ) 県のホームページ
- エ) 市町村のホームページ
- オ) その他のホームページ
- カ) ツイッター等のSNS (                      )
- キ) 市町村の登録制メール
- ク) 友人・知人からのメール
- ケ) 防災行政無線
- コ) その他 (    )

回答欄 (複数回答可能)

問 19 災害発生時及び発生後に欲しい情報はどれですか。欲しいと思う順に3つまで選んでお答えください。

- ア) 道路等の今後の復旧見通し
- イ) 現在の道路情報
- ウ) 現在の公共交通機関の運行情報や復旧の見通し
- エ) 医療機関の診療時間などの情報
- オ) スーパーマーケット等の営業情報 (商品の入荷情報を含む)
- カ) 学校の休校などの情報
- キ) ゴミ収集の情報
- ク) 損壊した家屋等の保証 (保険の適用など)
- ケ) ボランティアの派遣や募集に関する情報
- コ) 県の応急対策全般に関する情報
- サ) 各種の相談窓口 (連絡先含む) に関する情報
- シ) その他 (具体的に    )

回答欄 (複数回答可能)



問 20 災害に対する備蓄として各家庭で行っていることはどれですか。当てはまるものをすべてお答えください。

ア) 非常食 (家族 3 日分以上の食料、飲料水)

イ) ライフライン途絶時の備え (携帯ラジオ、懐中電灯、携帯電話、予備電池等)

ウ) 救急セット (消毒薬、ガーゼ、包帯、常備薬等)

エ) 非常時の持ち出し袋 (避難の際に必要なものをあらかじめ入れたナップサック等)

オ) 何もしていない

回答欄 (複数回答可能)
--------------

問 21 県の国土強靱化地域計画の策定に対するご意見、ご提案等がありましたらお書きください。

--

以上 ご協力ありがとうございました。